

機械工学委員会・総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同
理論応用力学分科会 理論応用力学企画小委員会
(第25期・第5回) 議事要旨

1. 日 時 令和5年8月16日(水) 9:00~11:00
2. 会 場 遠隔会議
(主催会場:九州大学カーボンニュートラルエネルギー国際研究所)
3. 出席者 高田保之(委員長), 菱田公一, 前川宏一, 荒木雅子, 金田行雄, 亀田正治, 岸本喜久雄, 近藤智恵子, 高木周(幹事), 堀宗朗, 松尾亜希子(副委員長), 山西陽子(幹事), 田川義之, 長井宏平

3. 議 題

1) 未来の学術振興構想の件 (資料 25-5-1)

高田委員長より未来の学術振興構想について「データ駆動型社会に向けた力学基盤の強化による社会的・産業的課題解決への貢献」というタイトルで作成されたことが報告された。審査段階で日本機械学会からの提案とマージすることとなった。

2) 理論応用力学シンポジウムの件

今後の理論応用力学シンポジウムについての議論がなされた。日本の研究・教育機関に在籍している外国人によるシンポジウムの企画は残した方が良いのではという意見が出された。

3) 理論応用力学講演会の件

前川委員より次回は2024年9月3日開催予定で日本機械学会機械力学・計測制御部門が幹事担当, 実行委員長は神奈川大学の山崎先生, Dynamics & Design Conference 2024 との合同開催で準備を進めている。場所は神奈川大学の横浜キャンパスか, みなとみらいキャンパスで開催予定。

4) IUTAM 小委員会報告 (資料 25-5-2)

岸本委員より ICTAM2024 の説明があった。2024年8月25-30日に韓国・大邱(DAEGU)で開催される。日本からの多くの参加者が期待されている。

5) 次期の運営体制 (資料 25-5-3)

9月に25期が終了し10月より新しい26期が開始される。新しい期となり小委員会を立ち上げ直す。意思の表出や国際対応の小委員会などシームレスに活動するために理論応用力学分科会とIUTAM・国際連携小委員会の設置申請書の提出を完了したことが報告された。

IUTAM・国際連携小委員会委員長の堀委員より25期は各学協会へ広くIUTAMを呼びかける目的で40名以内の委員構成としたが、26期以降は従来通り委員の構成は10名以内とし、その他の委員はオブザーバーとして参加する方針となったことが報告された

6) その他

次回は9月4日(月)九州大学にてハイブリットで開催。

4. 配付資料

資料 25-5-1 未来の学術振興構想「データ駆動型社会に向けた力学基盤の強化による社会的・産業的課題解決への貢献」

資料 25-5-2 ICTAM 2024 Call for papers

資料 25-5-3 【設置提案書】理論応用力学分科会・企画小委員会